

とどろきアリーナ避難所の受入状況について

4 月 18 日 16 時 00 分 現在

1 受入人数【登録カード記入者】

組数 人数

2 男女別

男性 人女性 人

3 年齢別

1歳未満 人1～2歳未満 人2～5歳未満 人5歳～10歳未満 人10代 人20代 人30代 人40代 人50代 人60代 人70代 人80代 人90代 人

106

※前回からの変更内容

4 住所

いわき市	組数	3	人数	9
郡山市	組数	2	人数	5
川内村	組数	1	人数	2
双葉町	組数	4	人数	11
南相馬市	組数	20	人数	56
富岡町	組数	2	人数	5
浪江町	組数	3	人数	13
牡鹿郡	組数	0	人数	0
東松島市	組数	0	人数	0
仙台市	組数	1	人数	1
楡葉町	組数	1	人数	1
大熊町	組数	1	人数	1
宮古市	組数	1	人数	2

39

106

5 特に配慮が必要な事項

- 0歳男の子(3/29、13時55分入所)夜泣きあり

6 駐車場の状況

(4月18日 7時現在)

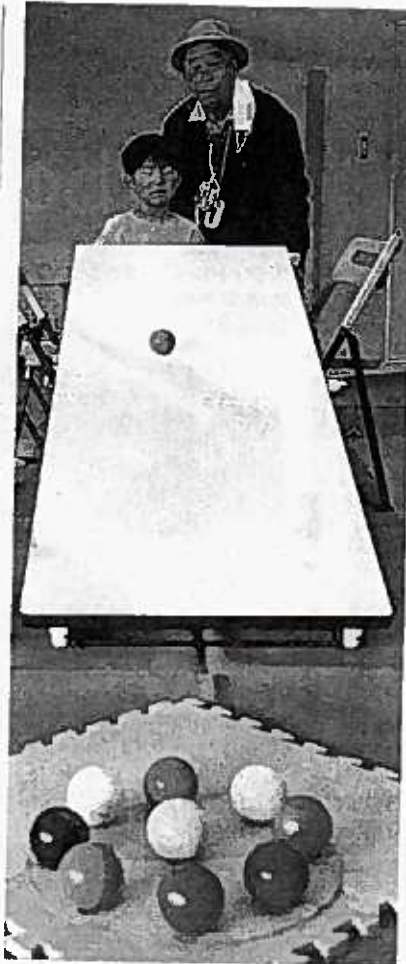
	利用台数	利用枠台数
とどろきアリーナ	24台	30台
被災者用臨時駐車場	15台	300台
計	39台	330台

7

相談イベント等の予定

なし

2011.4.8 東京



会議室の机を利用したビリヤード、子どもたちも自然と笑顔になっていた＝中原区で

避難の子どもたち
「ビリヤード」遊び
とどろきアリーナ
長い机の傾斜を使っ
て球を転がし、円形に
並べた九個の球をはじ
き飛ばす、「風変わった
ビリヤード」が七
日、福島県などから避
難してきた人たちが身
を寄せる川崎市とどろ
きアリーナ（中原区）
に登場。避難している
子どもたちを楽しませ
ていた。

考案したのは、同市
中原区の遊技研究家、
竹内啓也さん（左）。は
じき出した球の数など
で得点を競うゲーム
で、特に技術は必要な
く、子どもたちは夢中
になって球を転がして
いた。

「ゲームをやって、
少しでも子どもたちが
笑顔になってくれれば
うれしい」と竹内さ
ん。三歳の幼少期に東
南海地震（一九四四
年）で被災した体験が
あるため、心に傷を負
っているかもしれない
子どもたちを励まそう
と、遊び道具を持ち込
むことを思いついたと
いう。（酒井博章）